

# 光照院たより

発行：(宗) 光照院  
発行日：令和8年5月11日  
台東区清川1-8-11  
TEL. 03-3872-8487  
FAX. 03-3875-5485

## 「わらべあみださま」の建立

光照院住職 吉水岳彦

今年2月、アメリカによるイランへの攻撃によって、多くの幼い子どもたちの命が失われました。報道を通じて、泣き叫ぶイランの方々のまことに痛ましい声を耳にし、あらためて戦争

の悲しみと愚かさを強く感じさせられました。ウクライナやガザでの戦争も、ミャンマーの混乱も、どの戦争を目にしても悲しみと憎悪の連鎖を新たに生み出しているようにしか思え

ません。そのようななか、遠く離れた日本でできることは限られています。拙寺では、戦争で傷ついた方々に対する募金などの支援に資するともに、戦争で亡くなっ

た方々の後世安寧と平和な世の中の到来を祈るべく、小さな阿弥陀如来尊像を本堂前に安置することにいたしました。

参拝された方々とともに、戦争で失われたいのちや、戦火を逃げ惑う人々の平安を祈りたいと考えています。

この度、建立する小さな阿弥陀如来尊像の姿は、戦争で怖い思いをして亡くなった子どもたちを想って手が合わせやすいように、また、柔和な阿弥陀さまの慈愛深きお導きとお救いを感じてもらいやすいように、幼いわらべ(童子)のようにしてもらいました。多くの人とともに平和を祈り、お念佛をお称えいたします。

ちなみに、この「わらべあみださま」を石から生み出してくださいる石彫師の馬越伝心氏は、佛



「わらべあみださま」尊像

愛らしいお顔を拝見しながらお念佛を申すと、私たちの心まで柔和にしてくださいます。

教詩人の坂村真民氏と親交が深く、多くの坂村真民氏の詩を刻んだ地藏尊や童子像を作成してきた馬越正八氏の後継者です。

ご自身も災害支援などに関心を寄せる心やさしい石彫師です。わらべあみだ様をお願いするにもっともふさわしい方であると思いが、依頼いたしました。

わらべあみださまは少しぼつちやりした幼い子どものようなお姿で、素材は赤いインド砂岩です。その赤みを帯びたお顔は、わらべあみださまのあたたかな胸の内を表しています。

戦争でいのちを落とした方々が、それぞれの信仰する尊い方の導きを得て安らかでおりますように。これ以上、いのちの奪い合いによって傷つく子どもが増えませんかように。そして、

今戦火にある人々が、1日も早く平安に暮らせる世となりませうように。心から願います。合掌

### 光照院の授戒会

授戒会とは、苦しみ多き理不尽なこの世界を生きていくうえで、慈愛を心に互いに尊重しあい、学び合い、助け合って生きていく真の佛弟子となるべく、お釈迦さまから直接に「戒」という生き方を授けていただき、これまでの自分から生まれ変わる儀式です。

光照院で三回目となる次回の授戒会の日程は、**9月6日(日)**を予定しています。ご興味のある方は、遠慮なくお声掛けくださいませ。お念佛の日々のうちに、佛陀の御心をわが心として生きる、真に善き人にならせていただきますしよ。合掌

### 庫裡2階等の工事

今年1月、光照院本堂の耐震改修工事に引き続き、庫裡の2階と屋根裏の改修工事を行いました。屋根裏には、先々代住職の時代からの児童教化の資料や道具類が納められていたが、十年以上前からネズミが住み着いてしましました。そのため、2階にもネズミが現れるようになり、教化資料を取り出すことが難しくなりました。衛生的にも大きな問題が生じました。そのため、急ぎネズミの穴をふさぐとともに、ネズミによって汚染された部屋の改修工事を合わせて行いました。先代住職夫妻が使用していた部屋を直し、1部屋を遠方から布教に来る僧侶等の使用するお部屋に、もう1部屋を住職が留守をする時に

寝泊まりしてもらった職員等の部屋としました。屋根裏等のネズミによる汚染箇所の清掃は、住職と職員で行いました。その折、部屋のわずかな粉塵が目に入っただけで、住職の目は大きく腫れてしまいました。昨今、話題のハンタウイルスのみならず、多くの病気の原因にもなるネズミの害を、早期に解決することができて本当に良かったと、今更ながらホッと胸をなでおろしております。

工事にかかった費用については、先代住職夫妻の住居スペースの片付けも含まれるため、光照院先代住職と現住職、及び寺族が約半分を拠出しました。残りの半分は、新たに遠方の布教師等の部屋を設けるため、光照院から支出致しました。詳細は(表1)の通りです。

また、光照院1階の廊下のはがれかけた天井板の修復については、お施餓鬼までに本堂耐震改修工事の費用の残りをあてて行う予定です。多くの檀信徒のみならず、さまより頂戴したお浄財のおかげさまで、より衛生的で健全なお寺にすることができそうです。みなさまに深く感謝を申し上げます。合掌

光照院2階等改修工事の負担額内訳 (表1)

・住職負担額	¥800,000
・先代住職負担額	¥700,000
・寺族負担額	¥400,000
・光照院負担額	¥1832,300
	<b>合計 ¥3,732,300</b>
○光照院庫裡2階等改修工事費	¥3,732,300

### 施餓鬼会について

今年も6月14日(日)に檀信徒の皆様や関係寺院住職をお招きして、施餓鬼法要を厳修する予定です。

#### 《日程》

6月14日(日)

13時 法話  
14時 法要  
15時 終了

### ※法要の出欠と人数、塔婆の申込み、色花の要不要を同封のハガキにて必ずお知らせください。

### ※当日の昼食のご用意は「ご希望の方」にのみお願いいたします。

### 孟蘭盆会のご案内

光照院本堂で行うお盆の御回向の日時を定めました。**ご希望の方は6月末日まで**にお寺(03-33872-8487)

へご連絡下さいませ。お盆のお塔婆もあわせてお申し付け下さい。

#### 〈孟蘭盆会日時〉

● 7月11日(土)

13時半・15時

● 7月12日(日)

11時・13時・15時

※ご出席の場合は、ご回向する御位牌を必ずご持参下さい。

### お念佛会

ねんぶつかい

光照院では、毎月お念佛とお写経を行う会を行っております。開催日は、基本的には毎月第3土曜日の15時から2時間

を予定しています。光照院の檀信徒に限らず、大切な人を亡くしたさまざまな方がご参加くださっています。

現在はオンライン参加と現地参加の2つの方法で続けております。オンラインでのご参加

は、夕方16時半よりYouTubeの「為先会のお念佛」というチャンネルをご利用ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

#### 〈お念佛会の流れ〉

14時半 茶話会  
15時 写経  
16時半 法話  
17時 念佛回向  
18時頃 終了

※お写経は、現地参加の人のみを対象にしています。

### 光照院行事予定

2026年

● 6月14日(日)

施餓鬼会法要

● 7月11日(土)

お盆(新暦)

● 8月13日(土)

お盆(旧暦)

● 9月6日(日)

一日授戒会

● 9月20日(土)

秋のお彼岸

● 11月8日(日)

十夜放生会法要

※お盆にご自宅をお訪ねして念佛回向を行う柵経は、都内であれば7月9日～16日、東京以外の地域であれば8月8日～16日に

行います。新盆を迎えるお宅は、少しお早めにお寺にご都合を教えてください。宜しくお願い申し上げます。

### 住職のラジオ出演

仏教伝道協会が後援する大阪FMラジオ「笑



ラジオ「サタデーナイト仏教」収録にて笑い飯哲夫さんと共に



信徒さんが育てたチューリップ

い飯哲夫のサタデーナイト仏教」の4月の放送に、住職がゲストで迎えられました。お笑い芸人の笑い飯哲夫さんの楽しい司会進行のもと、4回の放送にわたって住職が日頃の活動についてお話いたしました。

内容としては、①光照院を拠点として行っている生活困窮者支縁活動の話、②医療と佛教に関するお話、③被災地における観音巡礼や石巻いのり大佛建立の勧進活動のお話、④聴衆からのご質問に対するご返

答など、多岐にわたります。慣れぬラジオ録音に緊張した住職は、初回、少し早口になっていましたが、2回目以降は少しずつ調子を取り戻し、お話ししています。

ちなみに、このラジオ番組は、あまり佛教に詳しくない人でも、楽しく聴きながら佛教を学べるものです。また、昔と違い、現代のラジオ番組は、スマートフォンや「ポッドキャスト」や「スポティファイ」といったアプリを用いることで、過去の放送回をいつでも聴くことができ、ぜひともお聴きくださいませ。

### 大規模火災への支縁

昨年、岩手県大船渡市林野火災に続き、暮れには大分の佐賀関で大規模火災が発生。さらに今年4月には岩手県大槌町で林野火災も発生。あまりの規模の大きさに

に啞然としてしまうのですが、被災された方々にとって、日常を取り戻すための支縁は急務。できるだけのことをしたいと考え、拙寺ではみなさまからのお布施の一部を、大船渡市林野火災の義援金と支縁金、大槌町林野火災への義援金にあてさせていただきました。どの火災も焼失面積が広く、火災後の対応には長い期間を要するとのこと。気候変動によって、まだまだ大規模火災は続くといわれるなか、他人事にせず、檀信徒の皆様のお力をいただきながら今後も支縁して参ります。

### 日頃の支縁に御礼

日頃より、光照院や住職が行うさまざまな支縁活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。みなさま

のおかげで、物価高騰のなかにも、なんとか毎月一度は困窮世帯や学習支援に来る子どもたちにお米等の食品をお渡しすることができています。この場をお借りして感謝を申し上げます。

合掌



### 編集後記

石巻の津波遺族との対話を契機に始まったいのり大佛建立の勧進。おかげ様で今年の11月3日に開眼供養を行い、東日本大震災発災から十七回忌を迎える来年の春には、誰もが手を合わせられるように、大佛様周辺の整備も終わります。尽きる事のない悲しみを、常に受けとめて下さる御佛のご来臨まで、あと少し。(住)

### お佛具料ご寄進

爲 宇田家及び秦家先祖代々追善菩提  
施主 秦 英治 殿

一金壹百萬圓

爲 永照智君信女靈位追善菩提

厨房等のエアコン寄進